

- 開催日時 : 平成30年7月30日(月) 午後2時から4時  
場 所 : 堺市役所本館6階 会議室  
出席委員 : (50音順) 泉谷 泰弘 委員、大町 むら子 委員、岡原 和弘 委員、  
小田 隆 委員、亀井 良徳 委員、木村 正明 委員、塩尻 公 委員、  
芝田 一 委員、杉林 克廣 委員、高橋 万喜子 委員、田内 潤 委員、  
中野 武義 委員、中村 礼子 委員、南角 善恵 委員、瀧上 猛志 委員、  
豆野 陽一 委員、八木 潤子 委員、山崎 成昭 委員  
欠席委員 : 金澤 正巳 委員、河野 譲二 委員、鈴木 克洋 委員、  
田間 泰子 委員、長谷川 俊英 委員  
傍聴者 : 1名  
案件 : 1. 傍聴における遵守事項  
2. 保健所事業の推進について  
3. その他

芝田委員長 みなさん、こんにちは、委員長の芝田です。のちほど、事務局から説明があると思いますが、本協議会の傍聴における遵守事項について議論する必要があります。今現在、1名の傍聴希望者がいらっしゃいますので、まずは、堺市保健所運営協議会条例第5条第2項にございます、『委員長は、議事その他の会務を総理する。』との規定により、1名の傍聴希望者の入室を認めてよろしいでしょうか。

出席委員 異議なし。

芝田委員長 ありがとうございます。それでは、事務局、よろしく願いいたします。  
事務局 いつも大変お世話になっております。本日の進行をさせていただきます、堺市保健所保健医療課 古谷でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。皆様方におかれましては、お忙しい中、保健所運営協議会にお集まりいただきますとともに、去る7月6日の大雨の影響による日程変更にもご協力いただきまして、誠にありがとうございます。なお、本協議会は公開となっておりますので、よろしくお願いいたします。また、7月2日以降、本庁や区役所等に置きまして、クールスポットを設置しておりますが、本日も、熱中症予防の観点で、災害用備蓄水をお配りいたしております。こまめな水分補給をお願い申し上げます。それでは開催にあたりまして、保健所長岩澤よりご挨拶申し上げます。

保健所所長 みなさま、こんにちは、堺市保健所長岩澤でございます。本日は、お忙しい中、またお暑い中堺市保健所運営協議会へご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、平素より本市の保健医療行政の推進にあたり、多大なご協力を賜っておりますことにつきましても、この場を

お借りして、重ねて御礼申し上げます。さて、ここで、皆様に本協議会の運営についての経過のご報告とお詫びを申し上げたく存じます。この度、新たにご就任頂きました、長谷川委員からのご指摘により判明しました誤りでございますが、2点ございます。1点目は、「本協議会条例第2条の規定により市長の諮問に応じてご審議いただくこと」（市長の諮問に応じて、本市の地域保健及び保健所の運営に関する事項を審議する。）となっておりますが、これまで諮問をいたしておりませんでした。2点目は、本運営協議会条例第6条の規定により、「この条例に定めるもののほか、協議会の組織及び運営について必要な事項は、委員長が協議会に諮って定める」と規定しておりましたが、この手続きを欠いておりました。1点目につきましては、遅くなりましたが、本日諮問書の写しをお配りしているところでございます。2点目につきましては、先ほど委員長よりおはかり頂きましたところでございます。長年にわたり、条例に沿わない運営が行われてきましたことにつきまして、深く反省し、お詫びを申し上げます。今後このようなことがないよう、運営して参りますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

さて、保健所におきましては、市民の皆様の健康の保持増進に寄与するため、医療法に基づく検査、あるいは各種の許可、感染症対策、食品衛生法に基づく監視指導、環境衛生、薬事業務など、様々な事業を実施しているところでございます。今年度におきましては、NPO 法人との協働による、骨髄移植の普及促進の取組みを一層進めますとともに、6月15日は住宅宿泊事業法が施行され、いわれる民泊につきまして、現在5件の届出をいただいているところです。本日は、様々な分野でご活躍されていらっしゃる皆様の意見を拝聴させていただき、市民の安全安心を守り、公衆衛生の更なる向上に努めてまいります。本日はどうか活発なご議論をいただきますとともに、今後とも本協議会にご協力賜りますようお願いを申し上げます。私のご挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

※下線部につきましては、お詫びして次のとおり訂正いたします。

「後ほど委員長よりおはかり頂く予定」

事務局

委員紹介

職員紹介

資料確認

それではここからは、芝田委員長、よろしくお願い申し上げます。

芝田委員長

それでは、次第にありますように、3つの案件が審議される状況でございますが、まず案件（1）として、「傍聴における遵守事項（案）」につ

いて、お手元にあると思いますが、ご確認をお願いします。この点について、ご意見これから伺いたいと思います。見ていただいて、内容について、ご意見等いただきたいと思います。ご意見無いですか。

委員

異議なし

芝田委員長

ご異議がないということで、しめさせていただきますと思いますので、よろしく願いいたします。それでは、今般、市から頂いております、諮問に基づき、案件（２）「保健所事業の推進について」を議題といたします。本件について、事務局から報告をお願いいたします。

保健所次長

みなさま、こんにちは。保健所次長の河盛でございます。よろしくお願いいたします。それでは、保健所における主な取組につきまして、主に資料３に沿って各所管よりご説明させていただきます。なお、保健所における全体の取組におきましては、資料１、２に記載しておりますので、併せてご覧いただきたいと思います。

各所管より説明

芝田委員長

ご説明ありがとうございました。以上で説明が終わりましたが、本件についてご質問やご意見はございませんか。

八木委員

日ごろより、感染症対策にご尽力いただき、ありがとうございます。特に梅毒が急増したときには、早い対策、ありがとうございます。ひとつ、ご質問ですが、夜間 HIV 検査に性病検査を同時実施する件について、梅毒検査と、クラミジアの検査を４箇所で行っていくということですが、これは別箇所で行っているのですよね。

感染症対策課長

保健センターで月に１回実施をしております。各保健センターは８か所ありますので、ほぼ１週間に１～２か所で性感染症の検査、HIVと同時接種であれば無料で受けていただくことができます。これとは別に感染症対策課でも実施しております。今年度から堺市駅前にありますサンスクエア堺で、夜間 HIV 検査をしております。その場でも、今回から梅毒の検査も同時に受けていただくことができる形で体制強化をしております。

八木委員

同時ですか、個別ではなく。

感染症対策課長

同時です、HIVとセットでお願いしております。

八木委員

個別で受けられるように思っていました。梅毒は梅毒、HIVはHIV、クラミジアはクラミジアと。なぜかといいますと、HIVですと、検査の性質として、おそらく匿名だと思いますが、梅毒、クラミジアは強いて匿名にする必要が無いと思います。その理由は、社会保険の審査をしていますが、毎月性風俗にもとづく同じ人がクラミジアとか、梅毒の検査を受けに来られていて、本来自費であるのに健康保険を使用し

ている事が問題視されています。8センターありますと、実際誰が来ているのかわからないし、毎月同じ人が8か所のセンターをまわって来ている可能性が十分あると思います。そうしますと、やはり、税の公平性というか、それはいかがなものなのかと考えています。そういうことも念頭に置いていただいて、どういう対策があるのか、ということも考えていただけたらと思います。

感染症対策課長 貴重なご意見ありがとうございます。まずは、HIV とセックというところで、どうしてもHIVについては、以前は死に至る病気ということで、国も対策強化をしてきた経緯がございます、今は治療の進歩で先ほど申し上げたように、逆に高齢化することが問題になっているくらいですが、感染症対策課、市の行政といたしましては、無料にして、できるだけ受けていただきたい、それは、全国的な梅毒罹患者の増加も含めた思いであります。

ただ、八木委員からご指摘いただきました公平性の観点も必要であると思いますので、今後、新たな方向を研究していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

八木委員 はい、ありがとうございます。それと、クラミジアも血液検査だと思うのです。

感染症対策課長 クラミジアは、尿（検査）になっております。

八木委員 そうですか、わかりました、ありがとうございます。

芝田委員長 そのほかございませんか。

瀬上委員 2点、質問いたします。一つは骨髄バンクで、聞き損じていたら申し訳ないのですが、昨年度「3倍を超える登録があった」とのことですが、具体的な数を知りたいです。それと、骨髄バンクのほうでは、当面目標10万人登録とか基本的な数値が出されていますが、人口比で言えば堺市で概ねこれくらいは集めなければいけないだろうというものがあるかと思いますが、そのあたりは、目標とか、掲げられていないのですか。

保健所次長 数値につきましては、資料3 No2の平成29年度の主な取組に記載しております。（平成28年度、35人から平成29年度、118人。）目標値ということなのですが、現在、ドナー登録者数につきましては、日本骨髄バンクの7月13日発行の月刊誌によりますと、48万7056名となっております。目標値については、以前、日本骨髄バンクさんが、20万人だとか、ある程度あれば確保できると言われていたのですが、現在は確かそういうのは無かったと思います。もう一つあるのが、関西骨髄バンク推進協会さんのお話を聞いていますと、人数もそうなんで

すけれども、適合率が 96%以上あるのですけれども、その中でもドナーの提供に至るのが 6 割、35%くらいの方が脱落してしまっているのが問題であると、その問題の一つとしましては、検査をまず受けていただくのですけれども、そこで、体調や、血液の質等で不適合の場合もあるとのこと。今もっとも多い登録者の年代は実は 40 代の方が 20 万人ほど登録されていまして、そのあと、30 代、20 代と続くということで、やはり、若い方、健康な方に登録をお願いしたい、というのが、正直なところということだそうです。たとえばたくさん人数がいっしょだったとしても、高齢な方では、何等かの持病を持たれていたり、骨髄提供に至ることができない事情があったりとか、できるだけ、若い方に登録をお願いしたいということでございます。堺としましては、そういうご意見をいただきまして、現在できるだけ若い方に対してのアピールを含めまして、現在、大阪府立大学と連携しまして、何とか学園祭などで何等かの講演活動等の普及啓発ができないか、ということで、取組を協働で進めようとしているところです。若い方にやはり協力していただいて、登録していただいて、健康な骨髄を登録していただくというのが大事だと思っていますところです。ですので、堺市としましても、骨髄バンク協会にしましても、数を何名というよりも、まずは本当に有効な、今求められている状況に適合するような対策を取ろうと考えているところでございます。特に、数値というのでしょうか、そういうことはございません。

淵上委員

わかりました。ありがとうございます。私の思いちがいで、失礼いたしました。ということは、逆にいうと、数ではなくて、20 代が何%くらい欲しいとか、そういうことになってくるのですよね。それはそれで、何か目標を立てていただいた方が、役所の方も予算なり人員なり使っているいろんなキャンペーンをされるわけですけれども、どれくらい効果的だったか、なかなか評価しづらくなっているの、目標数値を持たれたほうが個人的にはいいと思いますので、是非、ご検討お願いしたいと思います。

保健所次長

貴重なご意見ありがとうございます。検討させていただきたいと思えます。

淵上委員

もう一件ですが、動物指導センターの「地域猫活動支援」ですが、今回 120 頭分 8 グループ 96 万円というのを、150 等分 10 グループ 120 万円に増額されたということですが、まず一つお伺いしたいのは、ということは、平成 29 年度は予算の消化率は高かったのでしょうか、といいますのは、我々は結構相談を受けることが多くて、実際こ

ういものを紹介させてもらうのですが、結局のところ、行政の負担が100%ではないので、地域の困っている方の負担分というものがあるのですよね。「そなんやったらようせんわ」、と、猫に餌を与えている方と、困っている方とは違っていて、「よその近所の猫に餌を勝手にやってる人になんでわしらがお金払わなあかんねん」という理屈で、なかなか、予算を使いづらいのかという印象を私は持っておったのですが、これは、予算の消化率は高いのでしょうか。

動物指導センター所長

まずは、平成29年度ですが、8グループの予算をいただいております、実際は7グループ、98頭分、予算としては63万3536円で、また余っている状況であります。その中で、相談に来られる市民の方は、個々の数よりも複数ありまして、おっしゃる通り、地域の合意が取れない状況で実施できなかったというところもあったかと思っております。それと、1グループにつき15頭分の枠で組ませていただいているのですが、実際15頭の枠の中ですべてを捕獲できずに予算が使えなかったということもありまして、昨年度は若干数が減少している状況でございます。今年度は、すでに8グループの申請がありまして、相談も（正確な数値ではございませんが）プラス3グループからご相談をいただいている中で、淵上委員がおっしゃる通り、制度としてなかなか難しいものとなっているのかと思うのですが、我々も何とか丁寧に説明を行いながら、何とか進めていっている状態です。いろいろ実際やっておられる方からも、先ほどおっしゃられたような、例えば餌の費用であるとか、グループの方が活動する部分であるとか、かなり手間がかかる部分があり、ご意見をいただいているところでもあります。その部分につきましては、いろいろと研究しながら何かいい方法がないのか、検討させていただきながら、とりあえず、今年度もこのような形で実施させていただいているところです。

淵上委員

そのあたりは、できるだけ、地元の困られている割合が減るような取組を考えていただけたらと思います。現に、この前は、63万円ですか、予算としてはそれなりに余ってらっしゃることでしたら、そういうことも検討いただけたらなと思います。よろしく願いいたします。

動物指導センター所長

ありがとうございます。

芝田委員長

他に意見等はございませんか。

岡原副委員長

資料3の4に「結核ハイリスク者検診」というのがありますけれども、

資料の目的には「結核ハイリスクといわれる高齢者、生活困窮者、高まん延地域からの入国者に対し、検診を実施し、検診を実施し、患者の早期発見・まん延防止に取り組む」となっております。その対象が、シルバー人材センターの98名ということですが、これで、目的が達成できるか、適切な対処なのか、という点については、いかがでしょうか。

感染症対策課長

結核のハイリスク者検診といたしましては、昨年度から取り組んでおりました、ご指摘の平成29年、30年度におきましては、いわゆる高齢者自身が罹患率が比較的高く患者さんが多いと統計が出ておりますので、そういった中でシルバー人材センターの会員さんというのは、特に29年度においては屋内で、介護保険制度が改正に伴い、地域の担い手として活動されるケースが増えてきました。そういった中で、高齢者の方が各自宅に訪問される中で、感染するリスク、ご自身が感染されるリスク、第三者の方に感染させるというリスクがあるということがあります。特に屋内で活動するというのですが、野外で活動する場合は、結核菌が紫外線に弱のですが、野外で活動するというのは、結核に感染する可能性が低いんですけど、屋内は感染する可能性が高くなりますので、そういったことを考えまして、検診を実施しました。30年度は、特に高齢者の中でも、80歳以上でということ、これも国も言っているのですけれど、罹患率が高いということで、実際、検診の受検というところで、体調的なところで、受けていただけるのか、ということがありますけれども、できれば市の対策としては、80歳以上の人をターゲットに検診を行っていきたいと考えております。ちなみに、参考ですが、今までも、市内の商店街や、日本語学校、パチンコ店を対象として、そういった対策をしてきたんですけど、本市におきましては、そういった著しく、患者さんが多いというようなことがなく、正直、患者さんが発見されていないので、例年対象を変えまして、検診を実施しているところでございます。以上でございます。

岡原副委員長

堺市の肺がん検診については、保健センターのみならず、医療機関でも受けることができるということになっております。その対象の中にも、高齢者の方が入っておりますので、せっかくであれば、制度をうまく利用して、肺がん検診、そして、結核検診というものがうまく併用できないのかということをご検討いただけたらと思います。

芝田委員長

他はいかがでしょうか。

南角委員

今と同じところですが、結核患者さんにDOTSを引き続き行っていくと

ということが書かれていますが、以前一度、報告事項というか、状況把握のために、そういう取組みを薬局が行っているということで、薬剤師会に、関連文書が来たことがあります、その後それぞれ1回きりでした。

今後、現状の取組み等について薬剤師会宛てに報告等をいただく予定があるかどうかお伺いしたいと思います。

感染症対策課長 患者さんがお薬を飲んでいただくのを確認いただくというDOTS事業というのがありますけれども、市内の薬局さんにご協力いただきまして、お元資料1の19頁に「地域DOTSの実施状況」という実績を上げさせていただいております。平成28年度、29年度の実績が載っておりますが、薬局DOTSとして、28年度は85、29年度は88という活動状況で、今後ですが、市内の薬局の方にご協力いただきまして、事業については継続して参りたいと思っております、以上でございます。

南角委員 現状等の報告というのは、この会議のこの場で見せていただくという感じになりますのでしょうか。例えば、実際にどのような病院からどのような患者さんに対して、どのような薬局が薬剤を持って行ったというような、そういう細かいところは無くて、数的なことになりますでしょうか。事業を進める上で、もう少しこちら側からどんな協力ができるかなどお示しできたほうがいいかと思うのですが、いかがでしょうか。

感染症対策課長 その件につきましては、個別でのちほどご相談させていただければと思います。是非ご意見をお聴きしたいので、よろしく願います。

南角委員 ありがとうございます。

八木委員 先ほど、言いそびれてしまったのですが、エイズ予防の検査の実施状況を資料1 22頁に載せていただいておりますが、クラミジアと梅毒についての実施状況は無いので、また教えていただけたらと思います。

感染症対策課 梅毒につきましては、保健センターで検査をしております。500件ぐらいの検査数と記憶しております。

八木委員 各区でどれくらいあったとか、また、クラミジアについてはいかがでしょうか。

感染症対策課 平成29年度におきましては、梅毒のほうが524件、クラミジアが492件、センター別というのは手元にありませんが、センターを合わせたものとしては、そのようになっております。

八木委員 ありがとうございます。特にクラミジアにつきましては、HIV同時となっておりますので、男女で差が出るかと思っておりますので、できれば、男女別で調べていただけたらと思います。



- 感染症対策課 のちほど、資料として、提出させていただきます。
- ※別添追加資料 1
- 八木委員 ありがとうございます。
- 亀井委員 予防接種関連について、おたずねしたいことがあります。この資料 1 の 20 頁「予防接種実施状況」の「実施率」のところをみると、ポリオと、子宮頸がんについては、非常に数値が低く、その理由はわかるのですが、これだけ低いのはちょっとどうかな、もうちょっと高くてもいいのではないかなと思います。いろいろとマスコミ等で副作用等のことが報じられた経緯もあって、数値についてはわからないことではないのですし、選ぶのは市民の皆さまご自身というのはわかるのですが、それに対する客観的な情報の提供等については、何か実際に取り組みされているのでしょうか。
- 感染症対策課長 予防接種の実施率ということでしょうか。
- 亀井委員 特に、たとえば、子宮頸がん予防に関して、これだけ実施率が低いというのは、マスコミの影響というのはわかるのですが、実際の客観的な情報が医学的にはどうであるとか、市民がするかしないかを選ぶための情報提供ということに対しては何かございますでしょうか。
- 感染症対策課長 堺市としましても、委員ご指摘の通り、子宮頸がんにつきましては、健康被害が事実発生しておりまして、マスコミ等にも報じられたということがございまして、市内にも接種した数がそれほど多くないです。市としましても、国が定期予防接種としての位置づけを変えておりませんので、市内の医療機関にご協力いただいて、実施する機会は提供しております。
- ですので、堺市が契約する医療機関であれば、保護者の等方が医療機関の先生とご相談いただいて、接種することは可能ですが、堺市としても積極的な接種勧奨はいたしておりませんということは、ホームページ等にも掲載しております。というのは、健康被害の要因については、まだはっきり国においても正確なデータは出しておりません。また、医学会のほうでも、小児科医の先生方とか、いろんな観点からご意見が違ってしまうのが現状ですので、堺市として「こうです」というのは明確に判断できるものが無いと考えております。したがって、国の通知の通り、情報提供をしていきたいと考えております。
- 亀井委員 当然、国の方針があるというのはわかっておるのですが、以前、予防接種については副作用があつて、うちの子どもは 3 人いるのですが、受けなかつたり、後で受けなおさないといけないということがあつて、非常に混乱した経緯があつて、結局は、今回のこのことが本当になる

かは別問題として、できるだけ情報収集していただいて、正確な情報を市民にできるだけ提供していただきたい、そういう方向で検討して頂けたらと思います。

感染症対策課長 国のほうも、現在進行形で、その議論がされている、予防接種のワクチン分科会などで議論されているかと思しますので、そういった情報が堺市のほうに降りてきましたら、速やかにホームページ等の方法を使って市民の方に情報提供をはかっていきたいと考えております。

芝田委員長 他にご質問やご意見はないでしょうか。

では、次に進みたいと思います。案件（3）その他 として、事務局ありますか。

事務局 事務局からはございません。

芝田委員長 本日の案件は以上ですが、各委員の皆さまはどうでしょうか。無いということで、よろしいでしょうか。

委員 なし

芝田委員長 以上をもちまして、会議を終了させていただきます。委員の皆様におかれましては、ご協力いただきまして、ありがとうございました。では、事務局にお返しいたします。

事務局 長時間のご審議、ありがとうございました。では、これにて平成30年度保健所運営協議会を終了させていただきます。

## 追加資料1

八木委員からのクラミジアにかかる男女別データの質問に対する追加資料です。

### H29年度 各保健センター受検者数

#### HIV

	受検者数			陽性者数			
	男	女	合計	男	女	合計	
堺	60	37	97	1	0	0	
中	65	32	97	0	0	0	夜間臨時検査分含む
東	20	20	40	0	0	0	
西	29	30	59	0	0	0	
南	35	30	65	0	0	0	夜間臨時検査分含む
北	61	58	119	0	0	0	
ちぬ	24	12	36	0	0	0	
美原	20	13	33	0	0	0	
合計	314	232	546	1	0	0	

#### 梅毒

	受検者数			陽性者数			
	男	女	合計	男	女	合計	
堺	60	37	97	1	1	2	
中	62	30	92	0	0	0	夜間臨時検査分含む
東	19	15	34	0	0	0	
西	28	31	59	0	1	1	
南	36	27	63	1	0	1	夜間臨時検査分含む
北	60	52	112	2	4	6	
ちぬ	24	12	36	0	0	0	
美原	20	11	31	0	0	0	
合計	309	215	524	4	6	10	

#### クラミジア

	受検者数			陽性者数			
	男	女	合計	男	女	合計	
堺	56	31	87	1	2	3	
中	59	30	89	0	1	1	夜間臨時検査分含む
北	61	50	111	6	3	9	
西	27	26	53	2	0	2	
南	32	28	60	0	2	2	夜間臨時検査分含む
東	18	15	33	0	1	1	
ちぬ	19	10	29	0	0	0	
美原	19	11	30	0	0	0	
合計	291	201	492	9	9	18	